

## 事務事業評価における総括

部 局 名	保健所	記入責任者	谷久保 康平
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>保健所の政策的事業については、58 事業を位置づけており、S 評価は 44 事業、A 評価は 8 事業、C 評価は 1 事業、実績なしは 5 事業となっています。実績なしの事業について実施体制は整えていたため、おおむね順調に進捗していると考えています。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>地域保健課の地域包括ケアシステム推進支援事業及び地域・職域連携推進事業については、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、会議を開催することができず、実績なしとしています。</p> <p>衛生課の食品衛生知識の普及啓発については、適切なタイミングで随時発信し、効果的な周知に努めたことで、目標値を大きく上回ったことから、S 評価としました。健康増進課の肝炎ウイルス検診事業については、検査受診料無料対象者（40 歳）全員に受信券シールを送付し、受診勧奨としているものの、市民の関心度の低下等のため、受診率は 3.2%と下がっており、目標値の 80%を達成できず、C 評価としています。今後については、広報紙やホームページ等でより積極的に周知活動に努め、受診を促していきます。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>順調に進捗している事業については、継続して進めていきます。目標値を達成できなかった事業については、指標の妥当性を検証するとともに、政策・施策目標の達成に向けて、事業実施手法の見直しや再度全体の事業の見直しを進めます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対応のための必要人員の確保などから、保健所全体の事業について、より抜本的な事業休止または廃止に向けた検討を行っていきます。</p>			